

保護者等向け

児童発達支援評価表

児童発達支援ピース

記入年月日:令和 6年 2月 1日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	1			人数によってはやや狭く感じことがある。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	11			2	子どもの数が増え、職員が増員された。職員紹介などを父兄が見やすい場所に配置があると信頼ある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※ i になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13				いつも清掃、片付けされている。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※ ii が作成されているか	12	1			利用時と家での様子を合わせて目標を立てもらっている。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12			1	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12			1	保育の中で意図的な関わりを持つもらっていると感じる。
	8	活動プログラム※ iii が固定化しないよう工夫されているか	13				定期的に見直しされている。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	12			1	いさみ保育園と交流あり。田町こども園との交流は考えているのか?
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12			1	利用開始時個別で説明を受けた。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	12			1	保護者へ説明アリ。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※ iv 等)が行われているか	8	1		4	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができるているか	12	1			いつも快く相談にのってくださっているので何でも相談しやすい。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	1			毎日の送迎時面談的にお話している。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	2		1	月一回の交流会が設定されている。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13				

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	2		いつでも連絡が付くよう電話、LINEでやり取りしている。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	13			活動の様子を子どもの写真や連絡帳で教えてもらい安心できる。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	12	1		他人が見られないよう配慮されている(書類等)
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	13			マニュアルについて説明を受け資料を貰っている。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13			
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	12	1		毎日とても楽しみにしています。
	23	事業所の支援に満足しているか	12	1		送迎の際のあいさつや、引き渡しの際の体調の確認などをルーティーン化してスムーズになればいいのになと思います。挨拶を全員と気持ちよくしたいです。 ・とても満足しています。

※ i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

※ ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※ iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※ iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

(保護者の皆様へ)

○この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。